

2026年度(2025年実施)教員採用試験志願者数一覧 ※2025年度との増減比較つき

Table with columns: 志願者数, 年度, 小, 中, 高, 特, 養, 栄, 幼, その他, 計. Rows include 北海道, 札幌市, 青森県, 岩手県, 宮城県, 仙台市, 秋田県, 山形県, 福島県, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, さいたま市, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 横浜市, 川崎市, 相模原市, 新潟県, 新潟市, 富山県, 石川県, 福井県, 山梨県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 静岡県, 浜松市, 愛知県, 名古屋市, 三重県.

Table with columns: 志願者数, 年度, 小, 中, 高, 特, 養, 栄, 幼, その他, 計. Rows include 滋賀県, 京都府, 京都市, 堺市, 豊能地区, 兵庫県, 神戸市, 奈良県, 和歌山県, 鳥取県, 島根県, 岡山県, 岡山市, 広島県, 山口県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県, 福岡県, 福岡市, 北九州市, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 熊本市, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県.

【備考】1) 北海道=併願者は第1希望の人数を記載。高校については札幌市教育委員会との共同登録 2) 札幌市:小=小学校・幼稚園。中高のうち、高校については北海道教育委員会との共同登録となった者から必要となる科目について若干名を採用 3) 岩手県:志願者数は一般選考のみ人数。このほか社会2人、大学推薦6名、幼稚園教諭経験者10名の特別選考志願者がいる 4) 宮城県:中高=中学校・中高共通・高校の合算 5) 仙台市:中高=中学校・中高共通・高校の合算 6) 秋田県:その他=社会人特別選考 7) 山形県:小=小学校英語を含む。その他=スポーツ特別選考 8) 茨城県:志願者数には大学3年生を対象とした前倒し選考、離職者、スペシャリスト、前年度2次試験合格者を対象とした特別選考の志願者を含めない 9) さいたま市:中高=中学校・高校・中等教育学校の合算 特=特別支援教育担当教員・小学校区分と中学校区分の合算 10) 千葉県:中=中学校と中高共通の合算。高=高校専門教科(書道、情報、農業、工業、商業、水産、看護、福祉) 養=養護教諭特別選考(看護師免許を有し、2024年4月1日の時点で正規採用の看護師として通算3年以上の実務経験を有する者が対象) 11) 神奈川県:数値にはすでに実施している大学推薦及び10月~11月に実施する秋期試験の人数は含まれない 12) 横濱市:中=中高共通。高=高校商業、工業、情報。小=志願者数には「春チャレンジ選考試験」の志願者(302名)は含まれない 13) 川崎市:中=中高共通、高=工業・商業・福祉 14) 新潟県:高=特別選考の志願者を含む。2024年度の中=中高共通(志願者数は中学校・高校いずれかの配属、中学校のみ配属、高校のみ配属の各希望者の総数) 高=高校農業、工業、商業、水産、情報。2025年度の志願者数=春選考(5月実施)と夏選考(7月実施)のそれぞれの志願者から重複志願者を除いた数値 15) 新潟市:小=志願者数は小学校教諭5月検査(2024年度は小学校教諭6月検査)と第1次検査の合算 16) 富山県:特=特別支援学校A(特支と小・中・高いずれかの免許状を併せて所有(取得見込みを含む))と特別支援学校B(小・中・高いずれかの免許状を併せて所有(取得見込みを含む))と採用後5年以内の特支の免許状を取得する)の合算 17) 福井県:中=中高一括と中学校技術の合算、その他=理療および特別選考(障がい者、大学院、専門、英語、芸術、スポーツ特別(従来枠・地域連携枠))。職種別の人数は併願者を含む 18) 長野県:その他=身体に障がいのある者を対象とした選考とスポーツの技能や実績のある者を対象とした選考との合算 19) 岐阜県:その他=社会人特別選考(小中高特)およびスペシャリスト特別選考(高校の英語、工業、情報)の合算 20) 名古屋市:志願者数には障害者特別選考の6名、2024年に実施した大学3年生等を対象とした選考試験での2次試験受験対象者100名を含む 21) 京都府:その他=スペシャリスト特別選考・セカンドキャリア特別選考・障害者特別選考(各若干名を採用予定)、社会人経験者特別選考(採用予定者数は一般選考の各職種を含む) 22) 京都市:小=幼稚園併願分を含む 23) 堺市:小=小学校・特別支援学校小部、小学校外国語推進の合算 中=中学校・特別支援学校中中部の合算 24) 神戸市:小=小学校と小学校英語コースの合算 25) 奈良県:その他=実習助手 26) 和歌山県:中=中学校と中高共通の合算。なお、中(中高共通)と高は2025年度と2026年度で該当する教科が異なる(※2025年度:中=国語・社会・数学・理科・英語・技術 中高共通=音楽・美術・保健体育・家庭 高=国語・地理歴史・数学・理科・英語・農業・工業・商業・情報・看護。2026年度:中=社会・技術、中高共通=国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育・家庭 高=地理歴史・看護・工業・商業・情報) 27) 鳥取県:志願者数は併願者を含めた総数 28) 島根県:その他=第84回国民スポーツ大会(愛称:島根かみあり国スポ)競技力向上枠。数値は一般選考試験分。このほか特別選考試験(他県現職教員、教職経験者対象)に39名が応募している 29) 岡山市:小=英語特、小中連携推進特、特別支援教育推進特を含む。中=小中連携推進特、特別支援教育推進特を含む。その他=身体に障害のある者を対象とした選考 30) 山口県:その他=障害者を対象とした選考。このほか令和9・10年度採用予定分の特別選考「教職チャレンジサポート特別選考」に12名が応募している 31) 徳島県:その他=身体に障がいのある者を対象とした選考。なお、志願者数とは別に中学校英語志願者で小学校を併願する者が2名、高校各教科の出願者で「高校特選」を併願する者が7名を含む 32) 香川県:職種別の人数は併願者を含む 33) 愛媛県:志願者数には障がい者特別選考を含む。なお、記載の人数は前期試験分のみ人数で、後期試験分(現職教員特別選考)は含まれない 34) 高知県:志願者数には障害者特別選考を含む 35) 福岡県:小=一般と英語有資格者の合算。志願者数には開業会場実施分の現職教員特別選考志願者を除く 36) 福岡市:志願者数は一般選考のみ人数。「教職経験特別選考」と「大学連携特別選考」の志願者・併願者は含めない 37) 北九州市:小=小中一貫枠を含む 38) 長崎県:小・中の志願者数にはオンライン受験希望者(小学校・中学校未申請者)を含めない 39) 熊本県:その他=障がいのある者を対象とした選考 40) 熊本市:中=中高共通、高=高等学校改革に伴う特別選考。2025年度は「商業」「情報」を募集、2026年度は「商業」のみ募集。小、中、高、幼=一般と特別支援教育推進の合算 41) 鹿児島県:その他=実習助手、寄居指導員の合算(2025年度は船舶職員を含む)。採用予定者数は小学校2・3希望枠を含んだ発表数値(※小学校(併願)として中から上限10名程度、特(小部)から上限5名程度を小の採用者として選考) 42) 沖縄県:小=中学校との併願者を含む 43) 東京都:その他=特別選考(東京教員養成塾生、国際員活動経験者の合計) 44) 大分県:その他=特別選考(障がい者、社会人、スペシャリスト、他県教諭、元県内正規教諭、教職大学院修了(予定)者の合計)

※志願者数の数値は自治体からの発表数値をもとにしたもの。